



平成 19 年 5 月 10 日

国土交通省道路局長 様

斜里町長 村田 均



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)
平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号にて依頼のあった標記について、別紙の通り回答いたします。

記

提出書 中期的な道路整備計画にあたっての意見

問合せ先：斜里町建設部管理課
TEL 0152-23-3131(内線 216)

中期的な道路整備計画にあたっての意見

1 道路政策全般に関する意見

網走管内は全道的にも特色ある広域分散型の地域で、特に北海道の東端に位置する斜里町においては、道路は人や物の移動に必要不可欠なもので、地域住民にとってはまさに生命線であります。過去には「網走街道」、「斜里街道」、「根室街道」など地域性を感じさせた呼び名の街道は、近年も、幹線道路として地域の産業や文化の発展に大きく貢献してきたのは歴史が如実に語っており、これらの道路整備は非常に重要なものであると同時に、既存ストックしている道路施設の管理を含めた道路施策の必要性は斜里町にとっても極めて高いものであると認識をしています。

2 重点化を進める上で特に優先度の高い道路政策について

1) 道路防災事業

近年、全国、全道的な異常気象の影響により集中豪雨や大雨が多発する傾向にあるが、網走管内、特に斜里地区においては、主として道路が人の往来や物流を支えていることから、災害に強い安定した道路網の強化と新たな構築が必要であると考えます。

春先の融雪時や夏期・秋期の大雨時には、崖崩れ等の危険性の高い区間では頻繁に通行止めが発生し、地域経済活動や市民生活に大きな影響を与えている状況が見られます。

冬期においても各地において大雪、地吹雪等により除雪作業の遅滞や通行止めが発生しており、物資の運搬や住民生活の流動の他、冬期観光や町おこしイベントにも影響を与えることから、道路景観にも配慮した防雪柵や防雪林等の施設整備が必要と考えております。防災面では、各地で整備されつつある「道の駅」における防災機能の強化、道路情報サービスの充実や、地域との協働による危機管理体制の強化等、ソフト的な面での施策も必要であると考えます。

いずれにしろ、昼夜を問わず大きな災害が発生した場合、負傷者の救援・救護や災害復旧にも道路は安全に確保されなければならないことから、今以上に道路機能の強化が必要であると考えております。

2) 交通対策事業

オホーツク圏では、死亡に至る重大交通事故の発生率が高く、特に正面衝突による事故が多発している状況にあり、重大事故対策としての施策が必要であると考えています。特に国道 334 号線的美幌・斜里・ウトロ間においては狭隘な橋梁や曲線道路区間が多く、交通安全上からも早急な道路改修工事が必要であります。

また、歩行者の歩行空間の確保も必要であり、特に、通学路や市街部のバリアフリー化など、子供や高齢者にも配慮した道路整備事業の推進が必要と考えております。

3) 観光振興や地域活性化への支援

観光は、網走管内、特に世界自然遺産の知床を抱える斜里町においては主要な産業の一つであり、交通面での支援が必要であると考えます。近年は、シーニックバイウエイの活動やボランティアサポートによる国道沿道美化を始めとする地域再生・地域協働の推進が強く求められ、より魅力ある地域形成に向けた施策の充実が必要であります。

斜網地区周辺沿線には数多くの景勝地や雄大な自然景観が存在し、これらの貴重な資源と駐車場を組み合わせたビューポイントパーキングの設置やエコロードの整備、道央・道北方面を含めた周遊観光促進のための高規格道路網の整備など、道東観光振興への支援策が必要であると考えています。

また、現存の狭隘な市街地道路の拡幅や再開発事業を積極的に導入して、空洞化した市街地の活性化を図るための支援策の強化が必要と考えます。

4) 高規格道路網の整備

広域分散型の地域構造をなす北海道の中でも、網走管内は特に各市町村間の移動距離が長く、また市町村合併による行政区域の拡大にも対応した行政サービスを行う上でも、移動時間の短縮につながる高規格道路網の整備は重要と考えます。

また、高規格道路は、地域医療・物流の効率化・観光の活性化という面でも地域社会にとって必要であるという認識であります。

3 道路整備の効率化を進める上での重要な事項について

今後、全国に先駆けて人口減少、高齢化、医療機関の減少が進む北海道では、都市のコンパクト化や産業の集積、近隣地域との役割分担等を図り、地方行政としても効率化をより進めなくてはならないと考えております。また、活力を維持するためにも他の地域との交流を深めなければならず、その際、広域で鉄道などの公共交通網が脆弱な北海道では道路を使った移動が重要となります。

このため、早期に北海道の政治経済の中心となる道央圏や他の圏域とを結ぶ道路網の構築、広域交通拠点の道路整備を進めることが必要であり、また、既存の道路を活用しやすくするため、以下の事項の効率化を進めるべきであると考えます。

- ①道路整備事業を行う際の事業のスピードアップを図ること
- ②高速道路料金の引き下げ（広域な地域間移動、生活レベルでの利用、冬期の道路利用の改善）
- ③既存ストックの有効活用（現道を活用した高速道路網の効率的な構築）
- ④北海道の地域特性を活かした道路構造の採用

以上、中期的な道路整備計画を作成するにあたっての斜里町の意見とします。